

2001.10/14

## 伯耆富士紅葉

メンバー

大塚賢一 46才、田代恵子 37才、  
吉岡恵美 30才、津田靖子 28才、  
岸本陽介 28才

天候 > 快晴

東の空が真っ赤に染まるころ三  
鈷峰上部から閃光が照らし出され  
薄暗いブナの森が目ざめ、木漏れ  
日が朝露をまとったシダの葉に吸  
い込まれキラキラと光り輝き、黄  
色く色づいたブナの葉がそよ風に  
誘われてモーニングソングを歌っ  
て我々を出迎えてくれている・・・  
素晴らしき朝の訪れである。



剣が峰をバックに

大山へは昨年の冠雪の12月以  
来である。

今回は夏山登山道山頂方面への経  
由はせずに大神山神社経由でユート  
ピア小屋経由にした。

この時期は大山のブナの森が色  
づく季節だから・・・

また初登山のヤッコ、エミマル  
や病みあがりの恵ちゃんたちに森  
の新鮮な息吹を感じてもらいたい  
から・・・



13日は加西の古法華でゲレンデクライ  
ミングの練習をして夕方から出発、20

時過ぎにふもとの駐車場に到着、テント  
内で晩餐会に興じる。麓だというのに空  
を見上げれば宝石を散りばめたような星  
が歓迎してくれる。

14日 快晴

5時起床、気温は5度。周りの車もざ  
わざわと賑わいだし薄暗い中を出発して  
いた。

我々も6時半頃にスタート、今回は夏  
山登山道は避けて大神山神社経由で下宝  
珠越えから稜線に出て三鈷峰からユート  
ピア小屋の計画である。

下宝珠越えに出るまでの急斜面のブナ  
の森の紅葉を楽しむためである、夏山登  
山道は階段が多く登山者も多人数なので  
疲れる。

朝一番とあってこのコースは誰もいない、ブナの森深く狭い登山道を登っていく。

1200mを越えるころ、いままで青々していた葉が色づんで舞い落ちた葉がじゅうたんとなり疲れた足を癒してくれる。色々なキノコも生えているがそのほうはまだまだ知識が乏しいために刈ることを遠慮する。

### 三鈷峰とナナカマド

急登の連続でやっと稜線にたどり着く、爽やかな風がほてった体を冷ましてくれる。雲一つない青空だが剣が峰方面にガスがすごい速さで沸き上がっている。



ナナカマドの実

はやばやと葉を脱ぎ捨てたナナカマドに真っ赤が実がたわわとなり、濃い緑のキャラボクがオレンジの実をもち、名も知らぬ木が真っ青の実を飾り、色とりどりに誇張している。



キャラボクの実

小さなピークをいくつも越えてややこしいガレ場を慎重にトラバースして三鈷峰の稜線にたどり着くが、地震で崩壊のために三鈷峰へは通行禁止になっていた。やむやくユートピア小屋に向かう、ものすごい立派な小屋である。そこには若い女の子がただ一人いた、しかしザックが7個？。今朝6時にこの小屋に着いて剣が峰方面に行っているという・・・広島から来た元気なパーティである。



木の根越えて

10時と少々早いが大休止の昼食をとる。我々もザックをデポで剣が峰方面に遊びに行くが近づくに連れてガスが濃くなりやむなく折り返す。この稜線歩きは2度目であるがとんでもない崩壊でいつまで保つのか心配である。

帰りは来た道を引き返し再びブナの森へと消えていく。

麓の温泉に浸かり疲れを癒し、初登山の女の子たちには程良い山歩きになったことだろう。

美しい紅葉と素晴らしい天候を与えてくれた伯耆富士に感謝！。

旅人に尋ねてみた、どこまで行くのかと・・・

旅人は応えた、終わりなどないさ・・・